

科目名	心理療法特論			ナンバリング	858170	授業形態	講義
対象学年	1 年	開講時期	前期集中	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	井村修	担当教員					

授業の概要	本講義では、心理療法の理論、クライアントのアセスメント、面接技法の基礎を学び、心理臨床の実践的能力を育成することを目的とする。、仮想事例における応答練習、グループ討論、教員のコメントから授業は構成されており、受講者は体験的に心理療法を学ぶことになる。						
到達目標	1.心理療法の基本的理論について説明できる。 2.クライアントのアセスメントを適切に行える。 3.心理面接において治療的に有効な応答ができる。 4.適切な心理的支援計画が立てられる。 5.ケースレポートができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	事前に配布する資料は、必ず読んでから講義に出席してください。また資料の各章の最後に練習問題があります。他の学生と相談せず、各自で回答を記入してください。この資料は元となる書籍があり、講義中に紹介いたします。講義受講前には購入しないでください(事前に読むと討論に支障をきたすので)。講義終了後は購入してください。これで復習すると理解が一層進みます。						
ディプロマポリシーとの 関連	【人文学研究科 臨床心理専攻(修士課程)のディプロマポリシー】						
		1. 人間におけるさまざまな物事や問題を、臨床心理学の方法論を用いて探求し研究できる。					
		2. 臨床心理学の知識を深めるとともに、心理学全般にわたる幅広い教養を持ち、臨床的な枠組みを用いて、実践的に研究することができる。					
	○	3. 心理臨床の場面に対応しうるコミュニケーション能力を持ち、状況に応じたふさわしい自己表現ができる。					
		4. 自ら問いを立て、それに答えていく研究能力を持ち、積極的に活動できる。					
		5. 各自の研究成果を、修士学位論文にまとめ上げることができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
①心理療法のキーワードの意味を説明できる。 ②心理療法のプロセスについて説明できる。 ③診断面接の意義と概要が説明できる。 ④治療同盟の意義と概要が説明できる。 ⑤心理療法の進め方と終結について説明できる。	①事例のアセスメントができる。 ②インテーク情報をもと適切な心理的支援計画が立てられる。 ③仮想事例のクライアントの発言に適切に応答できる。 ④事例を振り返り心理的支援のプラス面とマイナス面を評価できる。 ⑤事例についてレポートができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					30%
小テスト・授業内レポート	○	○					10%
宿題・授業外レポート			○				10%
授業態度・授業への参加		○	○	○			25%
グループ討論での 発言やプレゼンの内容			○	○	○		25%

課題、評価のフィードバック	毎回の発表や質問に対し教員が口頭でコメントする。
---------------	--------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	『イブの三つの顔』で学ぶ心理療法の基礎	ドラマ『イブの3つの顔』を鑑賞し、解離性障害の患者の心理療法過程を解説する。	
	第2回	心理療法における出会い―アセスメント	心理療法における診断面接の意義と実施方法を解説する。	
	第3回	治療契約	心理療法における治療契約の意義と実施方法について解説する。	
	第4回	治療同盟	心理療法における治療同盟の意義と形成方法について解説する。	
	第5回	転移	心理療法における転移の意義と取り扱い方について解説する。	
	第6回	逆転移	心理療法における逆転移の意義と取り扱い方について解説する。	
	第7回	夢	心理療法における夢の意義と取り扱い方について解説する。	
	第8回	抵抗	心理療法における抵抗の意義と取り扱い方について解説する。	
	第9回	徹底操作1	心理療法における徹底操作の意義と取り扱い方について解説する。	
	第10回	徹底操作2	心理療法における徹底操作の意義と取り扱い方について解説する。	
	第11回	治療終結	心理療法における終結の意義と取り扱い方について解説する。	
	第12回	事例検討1	心理臨床の実践事例をもとにケース理解について解説する。	
	第13回	事例検討2	心理臨床の実践事例をもとにケース理解について解説する。	
	第14回	事例検討3	心理臨床の実践事例をもとにケース理解について解説する。	
	第15回	講義のまとめと試験	講義のまとめを行い試験を実施する。	
	試験	講義内容に関する試験を第15回目の授業の中で行う。		
授業の進め方		授業ではまず基本的概念の解説を行います。次に練習問題の解答についてグループでディスカッションします。そのあと全体で討論し教員がコメントを行います。		
授業外学習の指示		この講義は心理療法のプロセスについて体験的に学習することを目的にしています。事前配布の資料を読み、練習問題(資料の中に記載されています)に各自で解答して出席してください。解答は自分で考えて行ってください。 (授業外学習時間: 毎週 180 分)		

教科書	事前に配布する資料に基づき授業を進める。
参考書	適宜、授業内で紹介する。
参考URLなど	
その他	